

# サルモネラ・シゲラ寒天培地(改良型)(SS寒天培地)

## SALMONELLA SHIGELLA AGAR (SS AGAR MODIFIED)

OXOID コード:CM0533

### 組成 (培地1Lあたり)

ペプトン	5.0	g
ラブ-レムコ末	5.0	g
乳糖	10.0	g
胆汁酸塩	5.5	g
クエン酸ナトリウム	10.0	g
チオ硫酸ナトリウム	8.5	g
クエン酸第二鉄	1.0	g
ブリリアントグリーン	0.33	mg
ニュートラルレッド	0.025	g
寒天	12.0	g
pH	7.3±0.2	

### 調製方法

本品57gを1Lの精製水に懸濁し、沸騰するまで加熱して溶解する。本培地を高圧蒸気滅菌してはいけない。約50℃に冷却した後シャーレに分注する

### 用途・特徴

SS寒天培地は広く用いられてきたが、*Shigella*属に対する過度の抑制能が問題となっていた。

本品は胆汁酸塩混合物、ペプトン、pHを改良した変法培地である。過度に共存菌を増殖させることなく*Shigella*属の発育を支持するよう改善されている。*Salmonella*属は、コロニー中心部の黒変が明瞭となりかつ大きいコロニーを形成する。処方の変更により変法培地では粉末の添加量が1Lあたり63g(SS寒天培地)から57gと減量された。

### 方法

培地上に検体を多めに接種し、単独コロニーを得るため検体を十分に拡げ、35℃で18~24時間培養する。乳糖非発酵菌の無色のコロニーに対し、本培地に耐性を示す一部の*E. coli*や他の乳糖発酵菌はピンク色または赤色のコロニーを形成する。

SS寒天培地(変法)に加えて、セレナイト基礎ブイヨン(CM395)の試験管にも接種する。35℃で12時間培養後、別のSS寒天培地(変法)に移植する。

コロニーの特徴

乳糖非発酵菌

<i>Salmonella</i> 属	通常中心が黒い透明のコロニー
<i>Shigella</i> 属	透明のコロニー
<i>Proteus</i> 属、 <i>Citrobacter</i> 属	中心が灰色~黒色の透明なコロニー

乳糖遅発酵菌は48時間培養後、中心がピンク色のコロニーを形成する。

### 保存方法・使用期限

30℃以下の乾燥保存でラベル表示期限まで使用可能。調製した培地は2~8℃で保存する。

### 品質管理

陽性コントロール

*Salmonella enteritidis* ATCC 13076

*Shigella sonnei* ATCC 25931

陰性コントロール

*Enterococcus faecalis* ATCC 29212